

## テトラエチルチウラムジスルフィド

分子重量：296.54		CAS RN：97-77-8
濃度基準値：2 mg/m <sup>3</sup>	物性等 比重：1.27～1.31 沸点：117°C (2.5 kPa) 融点：71°C 蒸気圧：0.0116 Pa (推定値) 形状：白～灰色の粉末	
別名：ジスルフィラム、二硫化 N,N,N',N'-テトラエチルチウラム、アンタブース		
以下の測定法に使用する物品は、現在販売の無いものもあるが、同等の性質のものを使用して差し支えない		
サンプリング例	分析例	
<p>サンプラー：NOBIAS RP-SG1WA 日立ハイテクサイエンス製（ガラス繊維ろ紙+ジビニルベンゼン/メタクリレート共重合体、440mg） サンプリング流量：0.2 L/min サンプリング時間：4時間（48 L） 保存性：0.0994 μg、99.4 μg、198.8 μg 添加で冷蔵5日間保存可能。 破過：240分通気後に定量的回収が可能。</p>	<p>分析方法：高速液体クロマトグラフー紫外分光分析法（HPLC/UV） 脱着：メタノールでバックフラッシュ溶出、4 mL にした後超純水で5 ml に定容 機器：DIONEX UltiMate-3000 カラム：InertSustain C-18 4.0×250 mm×5 μm カラム温度：40°C 移動相：メタノール：水=75：25 流速：0.8 mL/min 検出波長：254 nm 導入量：50 μL 検量線：0.01988～39.76 μg/mL 上記範囲で直線性が得られている。 定量法：絶対検量線法</p>	
精度		
<p>添加回収率 添加量 0.0994 μg：98% 99.4 μg：101% 198.8 μg：102% (4 mg/m<sup>3</sup> 相当)</p> <p>定量下限（10SD） 0.00368 μg (0.000077 mg/m<sup>3</sup>、0.2 L/min×4時間)</p>		
適用：個人ばく露濃度測定 八時間時間加重平均		
妨害：なし		
安全上の注意：テトラエチルチウラムジスルフィドには皮膚感作性があるので、化学防護手袋を着用する。メタノールには眼に対する重篤な損傷・眼刺激性があるので、保護眼鏡を着用する。吸入による有害性があるのでドラフトで作業する。		
根拠文献： テトラエチルチウラムジスルフィドの測定・分析手法に関する検討結果報告書 (2016/02/15) <a href="https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11201000-Roudoukijunkyo-Soumuka/0000130864.pdf">https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11201000-Roudoukijunkyo-Soumuka/0000130864.pdf</a>		
参考文献： 1) 職場のあんぜんサイト：製品安全データシート 1-5 項 <a href="https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen/gmsds/0833.html">https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen/gmsds/0833.html</a> 2) 医薬品インタビューフォーム抗酒癖剤 日本薬局方ジスルフィラム ノンビック 原末 1-2 項 2009年3月改訂(第5版) 3) Occupational Safety & Health Administration：OSHA IMS Code Number 2682		

作成日 2024/01/31